

No.91

しまくとぅば実践教育事業

平成30年度事業費 7,972 千円
事業期間 平成 30 ～ 34 年度

所管：文化観光スポーツ部文化振興課(県立芸大)

事業概要

沖縄県は、沖縄文化の基層継承のために「しまくとぅば普及推進計画」を策定している。これに則り、県立芸大独自の方法による音楽芸能・美術工芸の教育実践の場における「しまくとぅば」の導入に向けて、調査研究を行う。

現状

- 沖縄に根づいた音楽芸能・美術工芸を継承し発展していくためには、歴史的・文化的に育まれた「しまくとぅば」を介在させたコミュニケーションが不可欠である。在来の言語を文化的実践において復興させた成功例がハワイであり、それを学術的に推進してきたのがハワイ大学ヒロ校ハワイ語学部である。
- ハワイ大学ヒロ校では、ハワイ語での授業実践のみならず大学の講義へハワイ語を組み込んでいる。同校のカリキュラムや授業実践体制、大学運営の方法、マニュアルの作成方法などと照らし合わせ、県立芸大とハワイ大学ヒロ校の教員間でのディスカッションを行い、しまくとぅば独自の教育方法を調査研究している。
- 平成29年度実績(ハワイ大学等交流事業)
 - (1) ハワイ大学ヒロ校での授業実践の視察
 - (2) 「しまくとぅばカリキュラム研究会」の開催 (全23回)
 - (3) しまくとぅばによる芸能実演家を招聘した授業の試行 31回(組踊：9回、地謡：10回、舞踊：12回)

平成30年度の事業計画

- (1) ハワイへの調査研究視察(ハワイ大学ヒロ校等)
- (2) カリキュラム作成のための研究会 毎2回開催
- (3) しまくとぅば教育実践授業 平成30年4月～平成31年3月
- (4) しまくとぅば講演会 年度内2回開催